

【 診療科:血液内科】  
 【 レジメン登録番号:IG-59 】

〈 HD-MTX+Ara-C療法【PCNSL】 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	.....	15	.....	21						
メソトレキセート	3,500mg/m <sup>2</sup>	div	○																	
シタラビン	2,000mg/m <sup>2</sup> ×2	div		○	○															

【1コース期間:21日】 【総コース数: 4コース】

【適応癌種:非ホジキンリンパ腫(PCNSL)】

【時期:術前、術後 **手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT <sub>3</sub> RB	div(30分かけて)
	ソル・マトロール 40mg	
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	メソトレキセート 3,500mg/m <sup>2</sup>	div(3時間で)
	生理食塩液 500mL <sup>備考②</sup>	
Rp.3	5-HT <sub>3</sub> RB	div(30分かけて)
	ソル・マトロール 40mg	
	生理食塩液 100mL	

<day2>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT <sub>3</sub> RB	div(30分かけて)
	ソル・マトロール 40mg	
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	シタラビン 2,000mg/m <sup>2</sup> <sup>備考③</sup>	div(3時間かけて)
	生理食塩液 500mL <sup>備考④</sup>	
Rp.3	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与 MTX投与開始24時間後に開始
	生理食塩液 100mL	
Rp.4	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	
Rp.5	5-HT <sub>3</sub> RB	div(30分かけて)
	ソル・マトロール 40mg	
	生理食塩液 100mL	
Rp.6	シタラビン 2,000mg/m <sup>2</sup> <sup>備考③</sup>	div(3時間かけて)
	生理食塩液 500mL <sup>備考④</sup>	
Rp.7	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	

<day3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	5-HT <sub>3</sub> RB	div(30分かけて)
	ソル・マトロール 40mg	
Rp.3	シタラビン 2,000mg/m <sup>2</sup> <sup>備考③</sup>	div(3時間かけて)
	生理食塩液 500mL <sup>備考④</sup>	
Rp.4	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	
Rp.5	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	
Rp.6	5-HT <sub>3</sub> RB	div(30分かけて)
	ソル・マトロール 40mg	
Rp.7	シタラビン 2,000mg/m <sup>2</sup> <sup>備考③</sup>	div(3時間かけて)
	生理食塩液 500mL <sup>備考④</sup>	
Rp.8	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	

<day4>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	ロコホリン 15mg/m <sup>2</sup>	div(全開で)/6時間毎 /全9~12回投与
	生理食塩液 100mL	

【参考文献:Lancet vol 374 October 31 2009;1512-1520、Oncology 2001;60:134-140

【備考①:血球が回復したら次コースへ進む。

【備考②:メソトレキセートの投与量と合わせて、生食の量調整可。

【備考③:60歳以上においては1回あたりAraC 1g/m<sup>2</sup>に減量を考慮する。

【備考④:シタラビンの投与量と合わせて、生食の量調整可。

【変法情報:

】  
 }  
 }  
 }  
 }  
 }